

「経営発達支援計画」に基づく「業種ごとの需要動向調査」

【小売業から学ぶ】

【1】小売業の変遷（京都の概要）

- ① 1964年10月、東京オリンピック名神高速道路開通
- ② 1960年代、SM・セルフレジ登場
電気冷蔵庫の普及
食品保存料、添加物
- ③ 1970年代、コールドチェーン
GSMの全国展開
SMのチェーン化
物流網の確立
- ④ 1980年代、CVSのチェーン化
小売業(競合⇒競争へ)
食の多様化
主婦の就業化
深夜営業
SSM、HC、ドラッグ等のチェーン化
- ⑤ 1992年
バブル崩壊
デフレ低成長の時代へ
- ⑥ 1995年以降、阪神淡路大震災、東日本大震災
大雨・洪水・温暖化要因も
共働きの増加、少子高齢化、個食化
米飯とパン食の逆転(数量・金額)
業態の組み合わせと洋風化、惣菜の拡充
- ⑦ 2020.2新型コロナウイルスがパンデミックスを引き起こす

※資料②

業界規模	伸び率	利益率
61.1兆円	2.80%	1.90%

※資料③

	全店売上高 (百万円)	構成比	前年同月 比(全店)	前年同月 比(既存店)
総売上高	98,304	100.0	112.3	110.7
食品合計	89,721	91.3	114.4	112.5
生鮮3部門合計	34,764	35.4	116.5	114.6
青果	14,143	14.4	117.5	115.8
水産	9,286	8.4	109	107.2
畜産	12,334	12.5	121	118.9
惣菜	8,812	9.0	96.4	95.3
日配	19,673	20.0	117	114.7
一般食	26,411	26.9	116.7	114.8
非食品	6,023	6.1	97.5	93.9
その他	2,559	2.6	90.1	91.4

(用語説明)

※GMS	量販店(ゼネラルマーチャンダイジングストア)
※SM	スーパーマーケット
※CVS	コンビニエンスストア
※SSM	スーパースーパーマーケット
※HC	ホームセンター
※DS	ディスカウント

※資料①

順位	銘柄名	売上高 (百万円)	業種	決算期
1	イオン	8,518,215	小売業	Feb-19
2	セブン&アイ	6,791,215	小売業	Feb-19
3	ファストリ	2,290,548	小売業	2019/8
4	ヤマダ電	1,600,583	小売業	Mar-19
5	バンパシHD	1,328,874	小売業	Jun-19
6	三越伊勢丹	1,196,803	小売業	Mar-19
7	H2Oリテイ	926,872	小売業	Mar-19
8	高島屋	912,848	小売業	Feb-19
9	ビックカメラ	894,021	小売業	Aug-19
10	ツルハHD	782,447	小売業	May-19
11	ウエルシア	779,148	小売業	Feb-19
12	イズミ	732,136	小売業	Feb-19
13	エディオン	718,638	小売業	Mar-19
14	ローソン	700,647	小売業	Feb-19
15	ライフコーポ	698,693	小売業	Feb-19
16	USMH	694,323	小売業	Feb-19
17	ケーズHD	689,125	小売業	Mar-19
18	ファミマ	617,174	小売業	2019/21
19	コスモス薬品	611,137	小売業	May-19
20	ニトリHD	608,131	小売業	Feb-19
21	サンドラッグ	588,069	小売業	Mar-19
22	マツキヨHD	575,991	小売業	Mar-19
23	パローHD	565,930	小売業	Mar-19
24	しまむら	546,944	小売業	Feb-19
25	ナジマ	513,057	小売業	Mar-19
26	アークス	512,246	小売業	Feb-19
27	スギHD	488,464	小売業	Feb-19
28	Jフロント	459,840	小売業	2019/21
29	DCM	445,758	小売業	Feb-19
30	平和堂	437,636	小売業	Feb-19
31	ヤオコー	435,084	小売業	Mar-19
32	良品計画	409,697	小売業	Feb-19
33	上新電	403,832	小売業	Mar-19
34	ココカラF	400,559	小売業	Mar-19
35	アスクル	387,470	小売業	May-19
36	コメリ	346,862	小売業	Mar-19
37	コーナン	333,496	小売業	Feb-19
38	フジ	312,388	小売業	Feb-19
39	ゲオHD	292,560	小売業	Mar-19
40	クリエイトS	286,299	小売業	May-19
41	近鉄百	282,700	小売業	Feb-19
42	アインHD	275,596	小売業	Apr-19
43	MV西日本	274,937	小売業	Feb-19
44	ABCマート	266,703	小売業	Feb-19
45	オークワ	265,115	小売業	Feb-19
46	カワチ薬品	264,926	小売業	Mar-19
47	いなげや	251,655	小売業	Mar-19
48	丸井G	251,415	小売業	Mar-19
49	クスリアオキ	250,885	小売業	May-19
50	青山商	250,300	小売業	Mar-19

【2】小売業トップ50位を参考に見ましょう。

- ① 小売業の特徴の変化
 - ・イオンは、マイカル・ダイエー等を吸収合併し、GMS・モール・生活総合産業へと変貌しています。
 - ・セブンアイは、セブンイレブンが主体となり、イトーヨーカ堂、その他を有しています。
 - ・アパレルの躍進も目覚ましく、3位のユニクロ・GUのファーストリテイリング、しまむら等も
 - ・家電チェーン店は、近年大きく売上高を伸ばし、上位に多数入っています。亀岡市でもヤマダ電機、エディオン、上新、ケーズデンキなどが出店しています。
 - ・ドラッグの躍進は目覚ましく、多くがベスト50位に入っています。近年は、コスモスなどの様に食品の品ぞろえを強化し、内税表示で特徴を出しているDSも現れています。
 - ・百貨店も上位には入っていますが、数年前にCVSに売上で、抜かれ今後の対策が必要です。
 - ・SM業態に特化した、ライフ、パローなども積極的な出店で利益も出しています。
 - ・資料③の、SMでは、2020年4月の実績は、コロナの影響がプラス効果となっている。

【3】ライフスタイルの変化（京都の概要）

- ① 上位50位だけでも、20年程前までは、それ程売上が無かった業態も、社会環境の変化、ライフスタイルの変化等と共に、京都・亀岡などへの進出が目立ってきています。
- ② 上記の特徴をみても、各業種は、戦略を立て、社会環境やライフスタイルの変化を捉え品揃えを変え、「来店楽しさ」「お得な商品」「きめ細かな接客」「子供からお年寄り迄」幅広い層に対応できるように、様々な工夫を行っています。
- ③ 店舗の大小により、又商圏の居住者を取り組むための工夫もしています。
- ④ 亀岡市は、京都市などと比較して、公共交通機関が地域の隅々まで網羅出来ません。従って、車両の保有台数が2台以上と多いので、これ等への対応も必要です。

【4】当会員の事業者の皆様は、「この変化に対応」が出来ているでしょうか？

- ① これ等の変化に対応して行かねば、ジリジリと売り上げを落として参ります。
- ② 売上が落ちなくても、利益額が減少して参ります。
- ③ 活性化策を講じる事により、現状維持又は売上・利益の増に繋がります。

【5】“挑戦する事業者”の仲間を増やし、創意工夫し、利益構造をアップさせる。

- ① 時間を作る。(生み出す) ⇒ (作業分析) (導線調査) (ムリ・ムダ・ムラ)
- ② 同業者の品揃え調査、売れ筋商品の発掘
- ③ 異業種から学び自社に生かす。(その視点を把握すれば、容易に改善に繋がる) (ストアコンパリスン競合調査分析)
- ④ 定期的にスケジュールを組み、絶え間ない努力をする。
- ⑤ そのお手伝いを、当会議所が行いますので、ご遠慮なくご相談下さいませ。